

(1) 第1回ワークショップ

①パワーポイント

②配布資料

③結果

④議事録

① パワーポイント資料

第1回ワークショップ

テーマ：新設校計画に向けて概要説明
意見・要望・課題の整理

2023.6.25 (日) 午前9時～12時
ふるさと館 会議室

鴻巣市教育委員会 教育総務課

1

■本日のスケジュール

開会

1. 挨拶・自己紹介
2. 事業スケジュール
3. 候補地説明
4. プロポーザル紹介・参考事例紹介
5. 川里中学校の現状
6. 校舎見学
7. グループによる意見交換
8. 発表
9. 総括

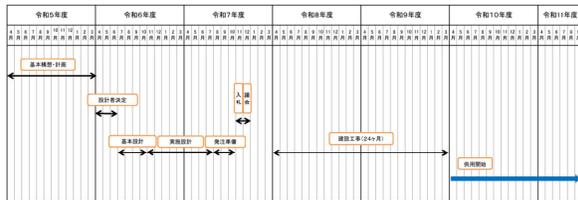
閉会

第1回 ワークショップ

2023.6.25 (日)

2

■事業スケジュール

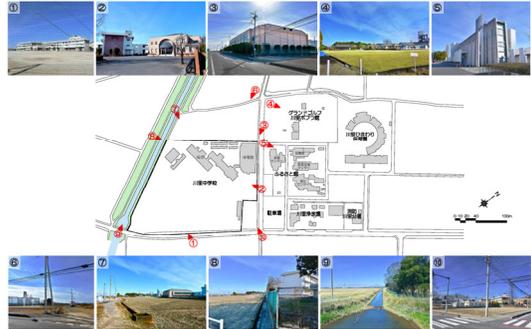


第1回 ワークショップ

2023.6.25 (日)

3

■候補地周辺説明



第1回 ワークショップ

2023.6.25 (日)

4

■プロポーザル案紹介

第1回 ワークショップ

2023.6.25 (日)

5

土地利用計画

プロポーザル案紹介

- 北側隣接地と西側に校舎を配属し、北西の季節風を校舎で通り、良好な校舎入口やグラウンド整備を計画
- 既存体育館に近いエリアに中学校を配属
- 既存中学校まで間に溝れずに移動可能な地下通路を計画
- 中用の正門を別々に設定し、徒歩通学の段重と自転車通学の多い生徒との安全性に配慮
- できる限り整形でない第一グラウンドと、隣接地を利用した第二グラウンドを提案
- 職員・外來駐車場を分散して配属し混雑緩和
- 既存体育館に近いエリアに中学校を配属
- 既存中学校まで間に溝れずに移動可能な地下通路を計画
- できる限り整形でない第一グラウンドと、隣接地を利用した第二グラウンドを提案
- 職員・外來駐車場を分散して配属し混雑緩和



第1回 ワークショップ

2023.6.25 (日)

6

小学校エリア

プロボ案紹介

学校種について
 複数の小学校の統合と合わせて、小中一貫教育を計画していくという、向条件の基本構想。計画の最終段階を踏まえ、小中一貫校と義務教育学校の検討についても迅速かつ適切な検討支援を行います。

必要諸室の配置について
 本提案では、小学校の統合による、児童への環境変化に配慮し、小中一貫型小学校(8年制)・中学校(3年制)を想定した必要諸室のレイアウト案を提案します。

2層で圧迫感なく明るく居心地のよい学校を提案

■実際に配置した小学校エリアの外観イメージ

第1回 ワークショップ 2023.6.25 (日)

7

中学校エリア

プロボ案紹介

隣接敷地の活用提案 (「かわさとグラウンドゴルフ場及び川里ボラ館」敷地面積合計: 11,179㎡)

- 「かわさとグラウンドゴルフ場及び川里ボラ館」を第二グラウンドとして提案します。
- 付属棟の屋上を観覧席として整備し試合の観戦・応援などを通じて、スポーツに親しみながら多世代交流の機会を創出します。
- 独立したグラウンドであり、積極的な地域活用にも有効です。
- 付属棟の屋上を観覧席として整備し試合の観戦・応援などを通じて、スポーツに親しみながら多世代交流の機会を創出します。

約1,800㎡の第二グラウンドを提案
 校舎とはブリッジでつながり安全な移動に配慮
 小学エリアと隣接2層のくし形教室配置を提案

■北側に配置した中学校エリアの外観イメージ

第1回 ワークショップ 2023.6.25 (日)

8

平面構成

プロボ案紹介

■レイアウト案
 ■特別教室の必要数(現環境から算出)

第1回 ワークショップ 2023.6.25 (日)

9

断面構成と環境配慮

プロボ案紹介

ゼロカーボンシティへの取組: ZEB (Ready) 取得のための具体的提案

【建築計画: パッシブ技術】

- 自然採光・自然通風を徹底
- 普通教室は全て南向き
- 庇やバルコニーを設置し日射抑制
- Low-E複層ガラスを採用
- 外壁、屋根、屋上の高断熱化

【設備計画: アクティブ技術】

- 高効率な照明・空調機器の採用と屋外機の至近配置
- 照明回路の階分化、人感センサー、明るさ検知、タイム管理等にて制御
- 換気は全熱交換機を採用。自動換気切替、CO2濃度抑制、余熱時の外気取入停止抑制、送風量制御等を導入
- 給湯器はエコ給湯を採用

環境配慮事項は楽しく学ぶ環境教育に活用

- エネルギーを見える化
- 手動で空開け換気をつながすシステムの採用
- 空気の流れがわかるシステム提案
- 断熱の威力を体感

■断熱イメージ

第1回 ワークショップ 2023.6.25 (日)

10

■参考事例紹介 (3件)

第1回 ワークショップ 2023.6.25 (日)

11

①瀬戸市立にじの丘学園

参考事例紹介

■概要

- 所在地: 愛知県瀬戸市
- 学校種別: 義務教育学校
- 敷地面積: 122,344㎡
- 建築面積: 102,153㎡
- 延床面積: 150,026㎡
- 構造: 鉄骨造
- 竣工: 2019年10月
- 竣工時期: 2019年10月
- 所在地: 瀬戸市

第1回 ワークショップ 2023.6.25 (日)

12

■各階平面図

参考事例紹介

第1回 ワークショップ

2023.6.25 (日)

13

②岩国市立東小学校・中学校

参考事例紹介

■概要
所在地：広島県岩国市
学校種別：普通教育学校
敷地面積：25,257.66㎡
建築面積：30,624㎡
延床面積：100,000㎡
構造種別：FRC造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造
設計：JTB
竣工年月日：2021年3月
所在地：岩国市

第1回 ワークショップ

2023.6.25 (日)

14

■各階平面図

参考事例紹介

第1回 ワークショップ

2023.6.25 (日)

15

③松江市立義務教育学校玉湯学園

参考事例紹介

■概要
所在地：広島県松江市
学校種別：義務教育学校
敷地面積：41,720.00㎡
建築面積：35,641.00㎡
延床面積：152,830.00㎡
構造種別：木造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造
設計：JTB
竣工年月日：2021年3月
所在地：松江市

第1回 ワークショップ

2023.6.25 (日)

16

■各階平面図

参考事例紹介

第1回 ワークショップ

2023.6.25 (日)

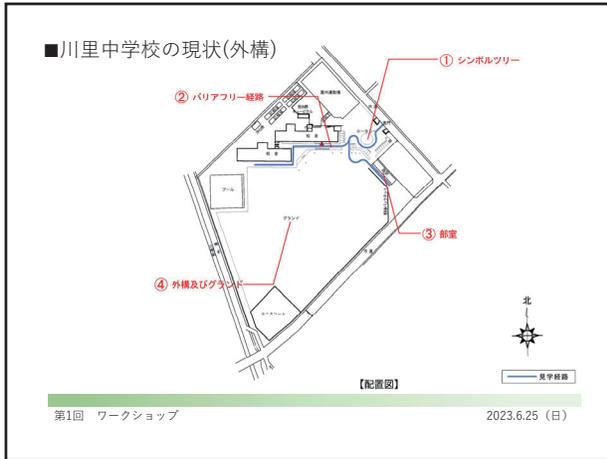
17

■川里中学校の現状 / 校舎見学

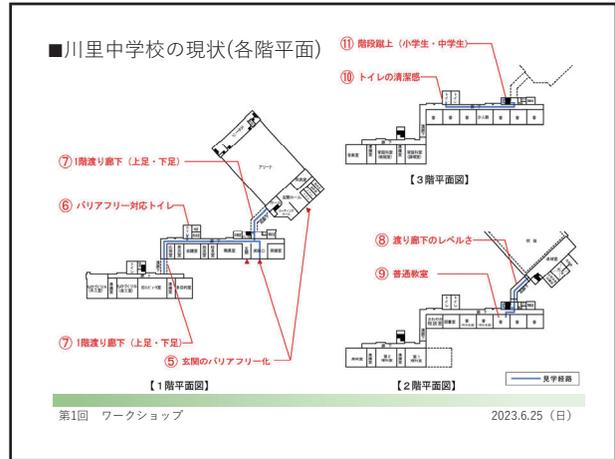
第1回 ワークショップ

2023.6.25 (日)

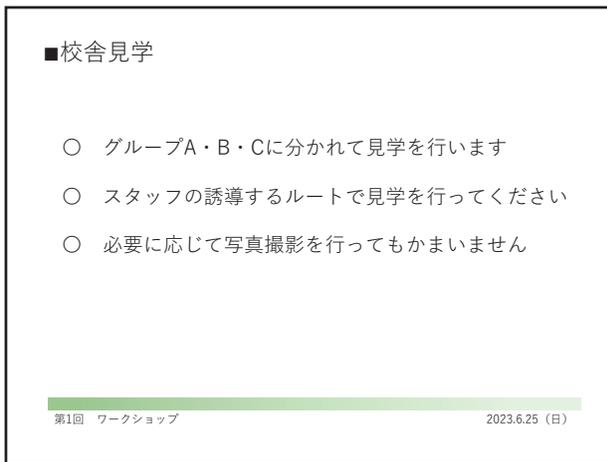
18



19



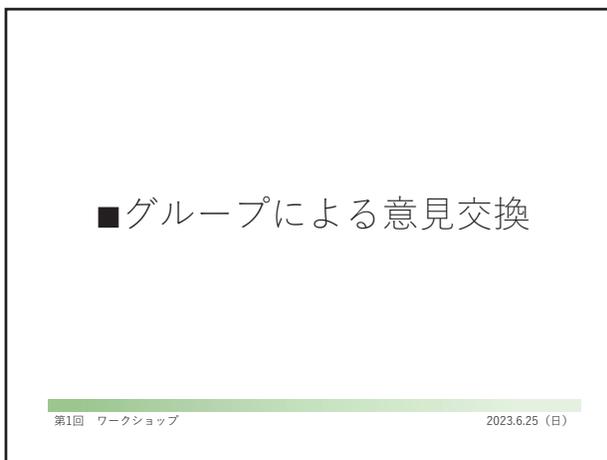
20



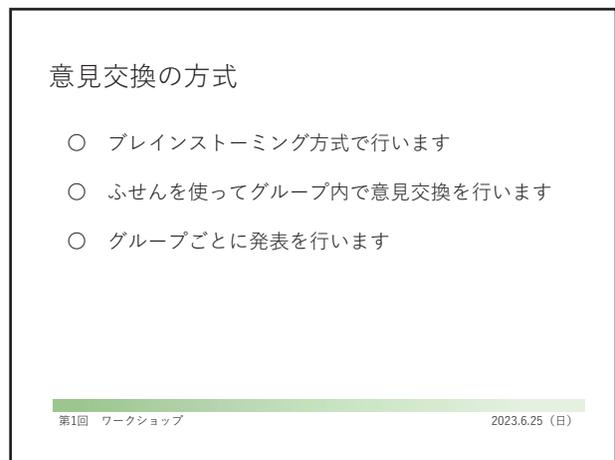
21



22



23



24

ブレインストーミングのルール

- ① 批判しない。
アイデアへの批判や意見はブレインストーミング中に関しては禁止とします。
- ② どんなアイデアでも歓迎する。
現実的にはありえないアイデアも自由に発言しましょう。
- ③ アイデアは多いほどよい。
質より量です。1人10個以上を目標に。
- ④ 他人のアイデアを修正、改善、発展、結合する。
アイデアの改善案や組み合わせも歓迎します。

第1回 ワークショップ 2023.6.25 (日)

25

方法

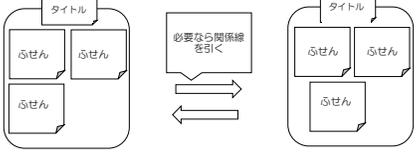
- ① ふせんの向きは、裏面の「のり」が横になるように使用します。
- ② アイデアは1枚につき、ひとつ。大きな字で簡潔に記入します。
- ③ ふせんを模造紙に貼り、グループのメンバーに説明します。



第1回 ワークショップ 2023.6.25 (日)

26

- ④ 全員の発表が終わったら、内容の近い意見・アイデアをグルーピングし、タイトルをつけます。



第1回 ワークショップ 2023.6.25 (日)

27

■グループによる意見交換

はじめに

- グループ内自己紹介
- リーダーを決めてください
- 発表者を決めてください
(テーマごとに交代しても良いです)

第1回 ワークショップ 2023.6.25 (日)

28

■グループによる意見交換

テーマ

1. 既存校舎の課題 (25分間)
2. 小中一貫教育に期待すること (25分間)

使用するふせんの色

- イエロー …… 1回目の意見
- ピンク …… 2回目の意見

第1回 ワークショップ 2023.6.25 (日)

29

■グループによる意見交換

まとめ

- 意見のまとめ
- グルーピング
- 発表準備

第1回 ワークショップ 2023.6.25 (日)

30

■グループによる意見交換

まとめ(参考)

Aグループ

第1回 ワークショップ 2023.6.25 (日)

31

■発表

第1回 ワークショップ 2023.6.25 (日)

32

■発表

- グループA→B→Cの順で発表を行います
- 各グループ発表(2テーマ) [計5分]
- 各質疑応答 [1分]

第1回 ワークショップ 2023.6.25 (日)

33

■次回の案内

- 日時：8月20日(日) 9時00分～12時00分
- 場所：川里支所 会議室
- テーマ：「建物規模・必要機能・複合施設の検討」

第1回 ワークショップ 2023.6.25 (日)

34

本日はありがとうございました

第1回 ワークショップ 2023.6.25 (日)

35

Blank slide content.

②配布資料

川里地域小中一貫教育校新設に係る ワークショップ

日時:令和5年6月25日(日)

9時00分~12時00分

場所:ふるさと館 会議室

◇◇目次◇◇

1. ワークショップの目的	…1
2. タイムスケジュール	…1
3. ワークショップの方式	…2
4. グループ構成	…2
5. ワークショップの手引き	…3
6. グループによる意見交換テーマ	…5
7. その他 ……添付資料1) 候補地説明	
添付資料2) 参考事例紹介 (3件)	
添付資料3) 校舎見学マップ	

1. ワークショップの目的

小中一貫校整備基本構想の策定にあたり、市民の方々の意見を広く聞く機会としてワークショップを開催し、テーマに沿った内容で、基本構想に生かせる具体的なアイデアを発見することを目的とします。

2. タイムスケジュール

第1回ワークショップ開催:6月25日

8:45 ~	受付
9:00 ~ 9:05	開会
9:05 ~ 9:10	担当者紹介
9:10 ~ 9:15	事業スケジュール
9:15 ~ 9:20	敷地説明
9:20 ~ 9:35	プロポーザル案紹介/事例紹介
9:35 ~ 10:20	川里中学校の現状/校舎見学
10:20 ~ 10:30	休憩
10:30 ~ 10:35	ワークショップの進め方
10:35 ~ 10:40	自己紹介・役割決め
10:40 ~ 11:30	グループによる意見交換、発表まとめ
11:30 ~ 11:50	発表 各グループ5分程度
11:50 ~ 12:00	講評・閉会/事務連絡
12:00	解散

3. ワークショップの方式

ワークショップは、ブレインストーミング方式で行います。
ブレインストーミングとは参加者が自由にアイデアを出すことが特徴で、自由な雰囲気
で話し合うことで、アイデアが新たなアイデアを生み出すという効果が期待できます。

ブレインストーミング 4 つの原則

①批判しない。

アイデアへの批判や意見はブレインストーミング中に関しては禁止とします。

②どんなアイデアでも歓迎する。

現実的にはありえないアイデアも自由に発言しましょう。

③アイデアは多いほどよい。

質より量です。1人10個以上を目標に。

④他人のアイデアを修正、改善、発展、結合する。

アイデアの改善案や組み合わせも歓迎します。

4. グループ構成

グループのリーダー、書記、発表者といった役割を決めます。

リーダー(1人)	グループ全員の意見を集約しながらワークショップ(グループ討議)を進行(タイムキーパー)してください。
メンバー	ご自身の考えを積極的に発言し、リーダーを支えながらスムーズな進行にご協力ください。 意見を取りまとめシートの記入をします。
発表者(1~2人)	シートを用いてグループ討議の内容を簡潔に発表してください。

※受託事業者の㈱桂設計の社員がファシリテーターとして各グループに参加します。

5. ワークショップの手引き

(1) ワークショップとは、参加者個々が考え、お互い協力し合いながら意見を出し合い、与えられたテーマを元に展開するスタイルの会議や共同作業のことです。

(2) ワークショップの注意点

- ・気軽に楽しくやりましょう。
- ・どんどん意見を出していきましょう。
- ・他の人が発言しているときは、最後まで耳を傾けて聴きましょう。
- ・一回当たりの発言は手短かにしましょう。
- ・他の人の意見を否定しないようにしましょう。

(3) ワークショップの進め方

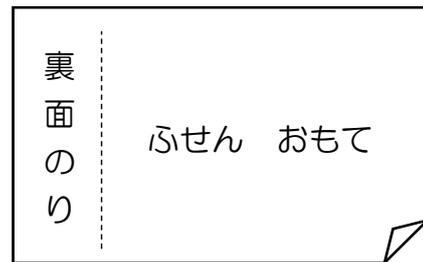
- ① グループ内で自己紹介を行い、各グループ内に1人、リーダーを決めてください。
リーダーは、話し合いをどんどん進めてもらう役割です。なるべく全員から意見を出してもらいましょう。
各グループにファシリテーターがいますので、疑問点や不明な点があれば、気軽にお声かけください。
- ② 当日の作業の確認を行い、グループ内で情報の共有を行います。
 - ・テーマの確認をしましょう。テーマについてできるだけ幅広い意見や考え方を集め、グループで意見を集約しましょう。
- ③ ふせんに自分の意見(またはアイデア、感想など)を記入します。
(以降に示す[ふせんを使った情報集約法(使い方)]を参照)
 - ・テーマについて、自由に意見を出し合いましょう。
 - ・ふせんに記入した自分の意見を発表シート(模造紙)に貼りながら、グループのメンバーに説明します。
- ④ 発表シート(模造紙)に全員の意見が貼り出されたら、まとめの作業を行います。
 - ・全員の意見が貼り出されたら、他に意見がないか確認しましょう。
 - ・内容の近いものをグルーピングし、みんなでタイトル(キーワード)をつけます。
 - ・課題(見直す点や検討する点)を中心に、今後どのようにしていくべきか、発表シート(模造紙)の空きスペースにまとめます。
- ⑤ 上記の方法で、最後にグループごとに発表を行います。
 - ・発表者を決めてください。発表は何人で行っても OK です。
 - ・ホワイトボードに模造紙を貼ったら、それを活用しながら説明スタート。
 - ・発表時間は、各グループにつき5分、質疑応答 1分程度でお願いします。

[ふせんを使った情報集約法(使い方)]

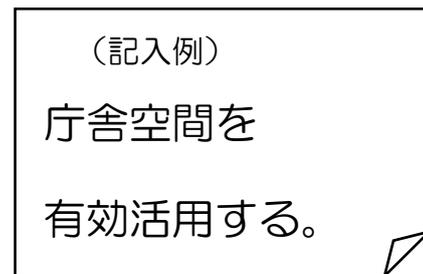
今後、ワークショップを行っていく際に、全員の意見を効率的に反映していくため、各自の意見を集約していくことになります。

そこで、様々な意見やアイデアを効果的にまとめるふせんを使用した情報集約方法について、紹介します。

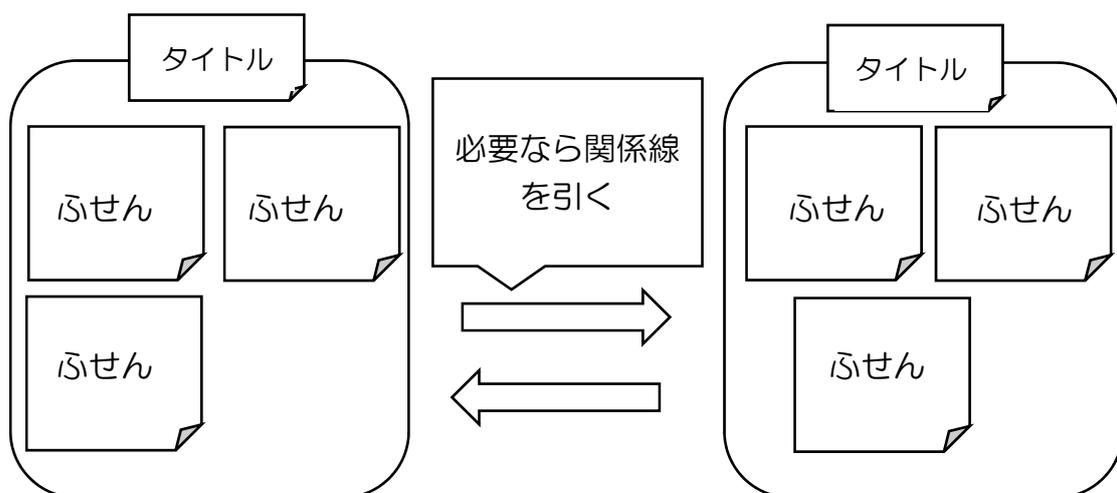
- (1)ふせんの向きは、裏面の「のり」が横になるように使用します。



- (2)意見は1枚につき、ひとつ。
大きな字で簡潔に記入します。



- (3)記入した人は、模造紙に貼りながら、グループのメンバーに説明します。全員の発表が終わったら、内容の近い意見・アイデアをグルーピングし、タイトルをつけます。
グループを輪で囲みます。グループに関係線を引いても OK です。



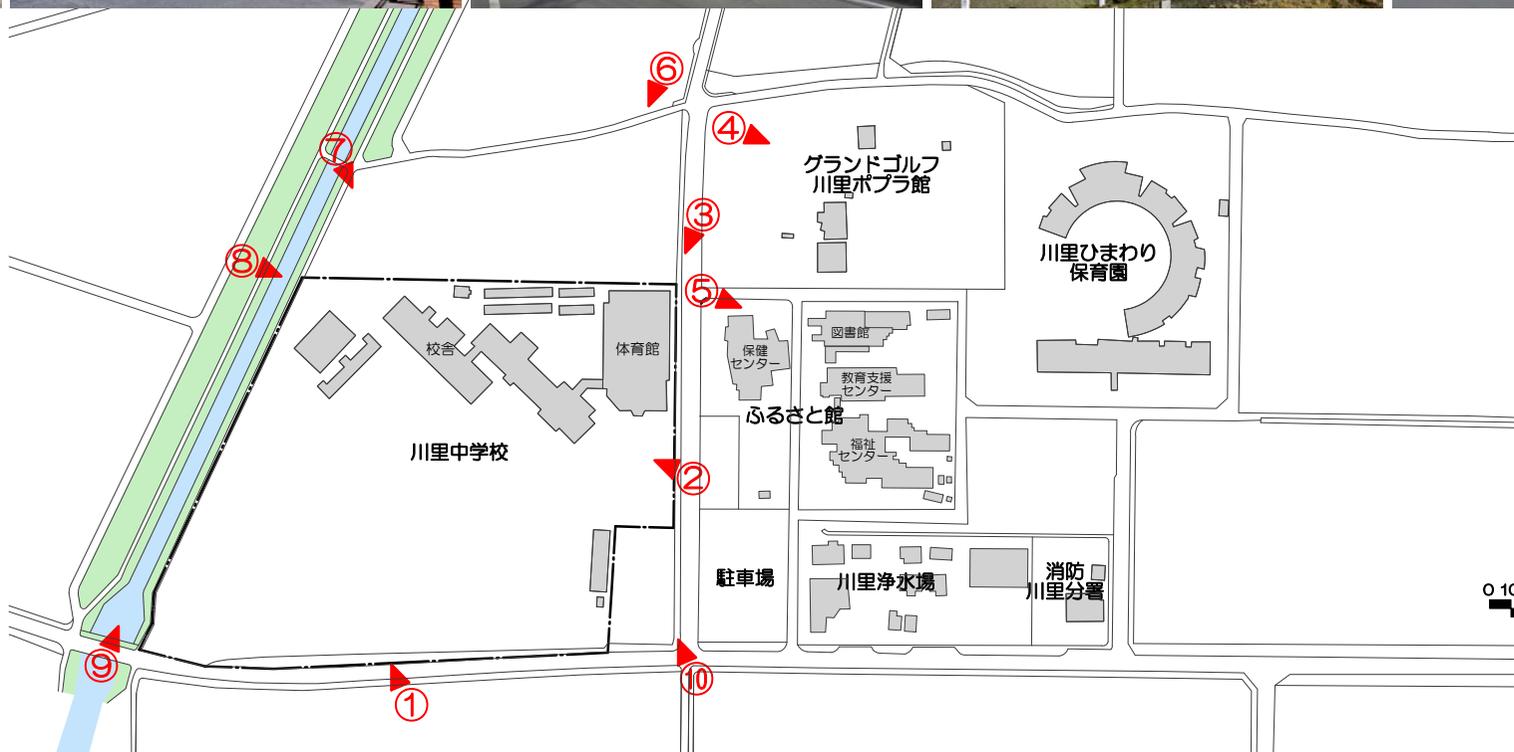
6. グループによる意見交換のテーマ

- ・テーマ1 : 『既存校舎の課題』
- ・テーマ2 : 『小中一貫教育に期待すること』

[ワークショップスケジュール]

回数	開催日時	内 容
第1回	6月25日(日) 9時00分～12時00分 ふるさと会館 会議室	◆テーマ1 「新設校計画に向けて概要説明、意見・要望・課題の整理」 1. プロポーザル案紹介・参考事例紹介 2. 既存校舎見学 3. 意見交換
第2回	8月20日(日) 9時00分～12時00分 川里支所 会議室	◆テーマ2 「建物規模・必要機能・複合施設の検討」 1. 複合施設・機能に対する意見交換 2. 敷地利用に対する意見交換 3. 平面プランに対する意見交換
第3回	11月26日(日) 9時00分～11時00分 川里支所 会議室	◆テーマ3 「新設校計画のまとめ、今後の課題整理」 1. 基本計画プランに対する意見交換 2. 今後の課題・要望に対する意見交換

7. その他
候補地説明



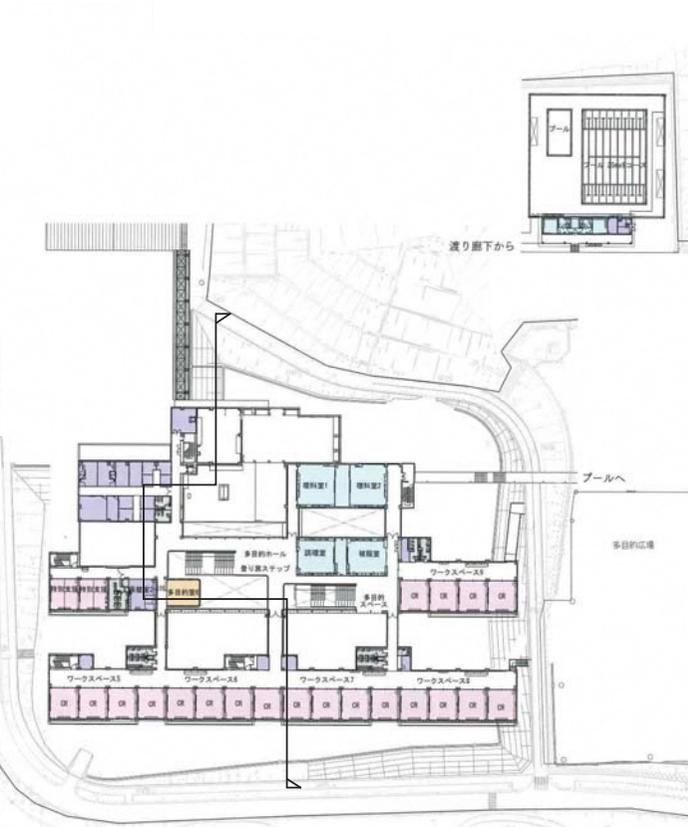
■各階平面図



地下1階平面図



1階平面図



2階平面図



教室



廊下



体育館

岩国市立東小学校・東中学校

■概要

所在地：山口県岩国市

学校種類：義務教育学校

敷地面積：35,257.66㎡

建築面積：9,052.04㎡

延床面積：16,983.99㎡

構造規模：PRC造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造

階数：3階

竣工年月日：2021年8月

発注者：岩国市



外観 1



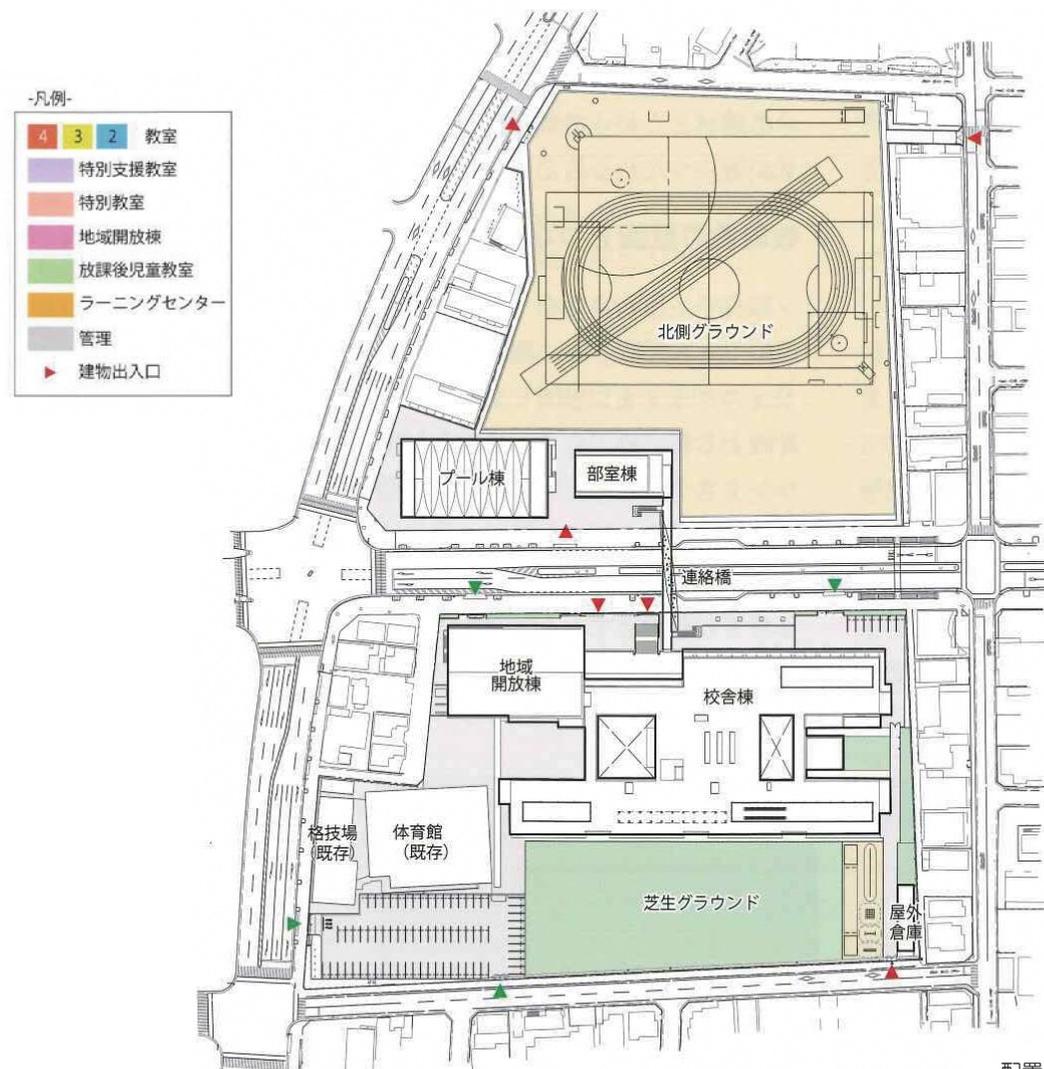
外観 2



図書室

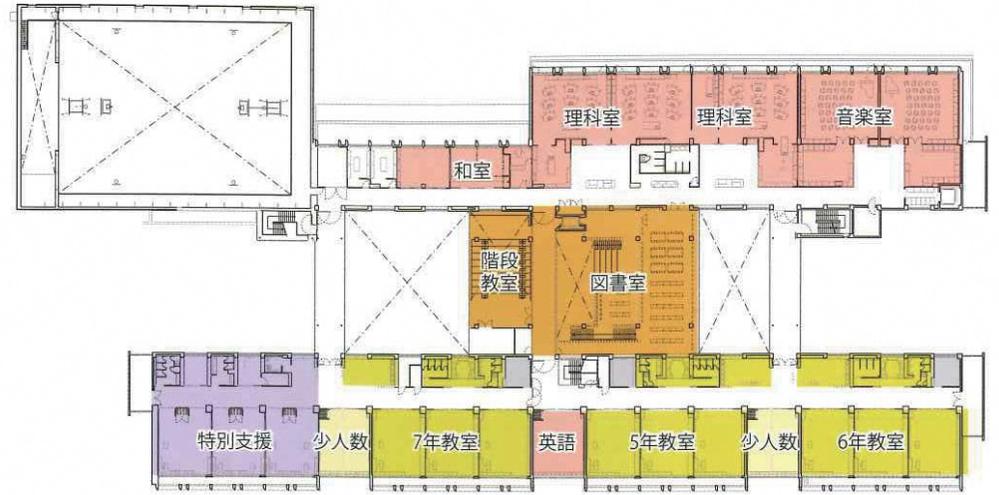


特別教室



配置図

■各階平面図



教室



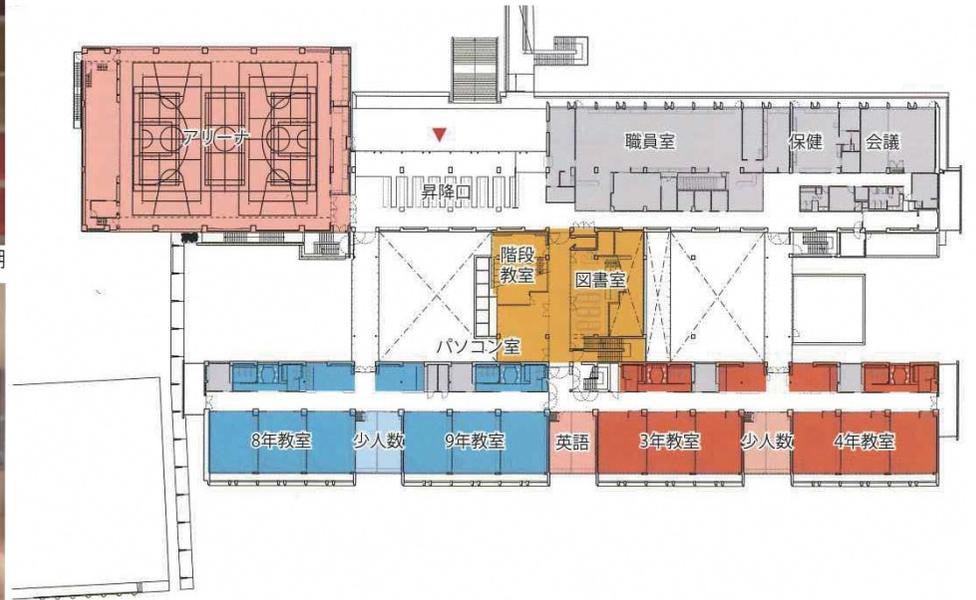
間仕切り収納棚



階段教室



掲示スペース



3階平面図

2階平面図

松江市立義務教育学校玉湯学園

■概要

所在地：島根県松江市
 学校種類：義務教育学校
 敷地面積：41,722.69㎡
 建築面積：9,541.05㎡
 延床面積：15,083.08㎡
 構造規模：木造一部鉄筋コンクリート造、鉄骨造
 階数：3階
 竣工年月日：2021年3月
 発注者：松江市



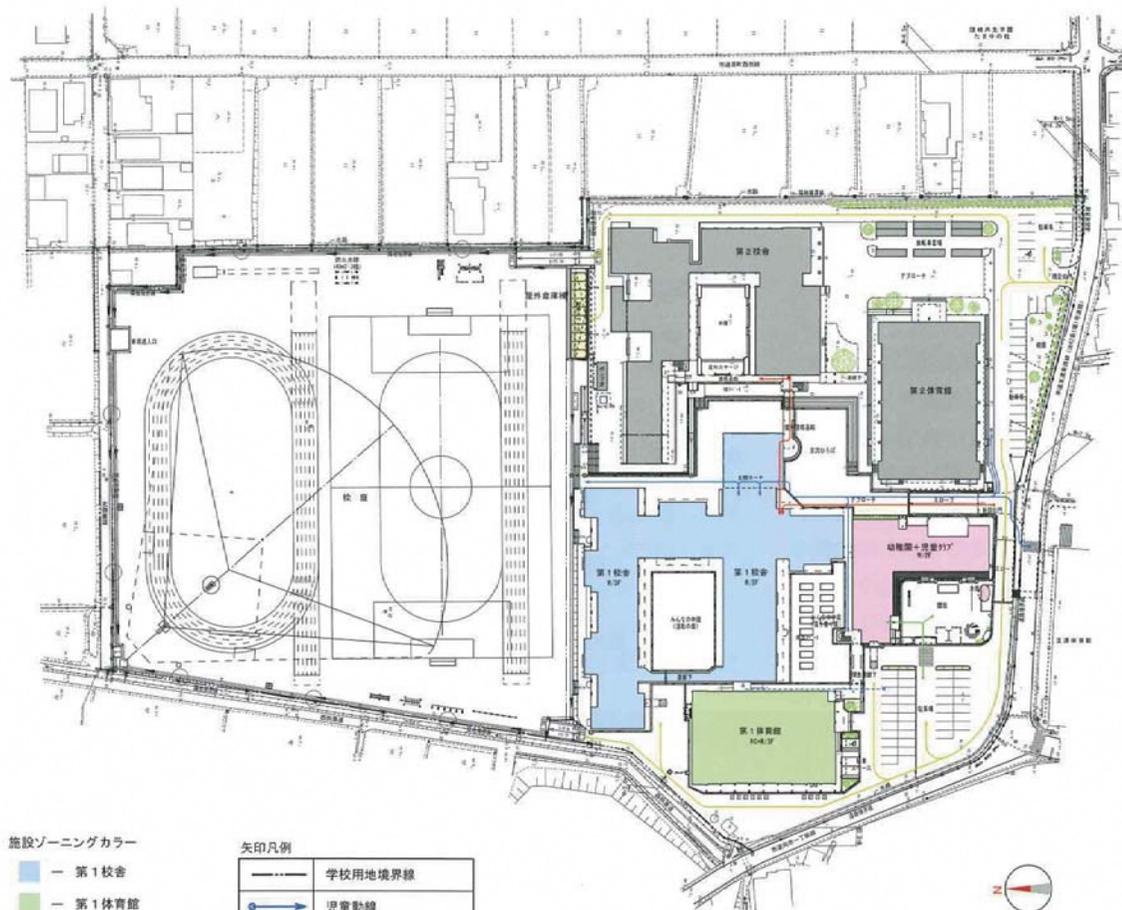
教室



体育館



俯瞰図



施設ゾーニングカラー

- 第1校舎
- 第1体育館
- 幼稚園舎
(2階は児童クラブ)
- 屋外倉庫
- 第2校舎・第2体育館
(旧中学校校舎・体育館)

矢印凡例

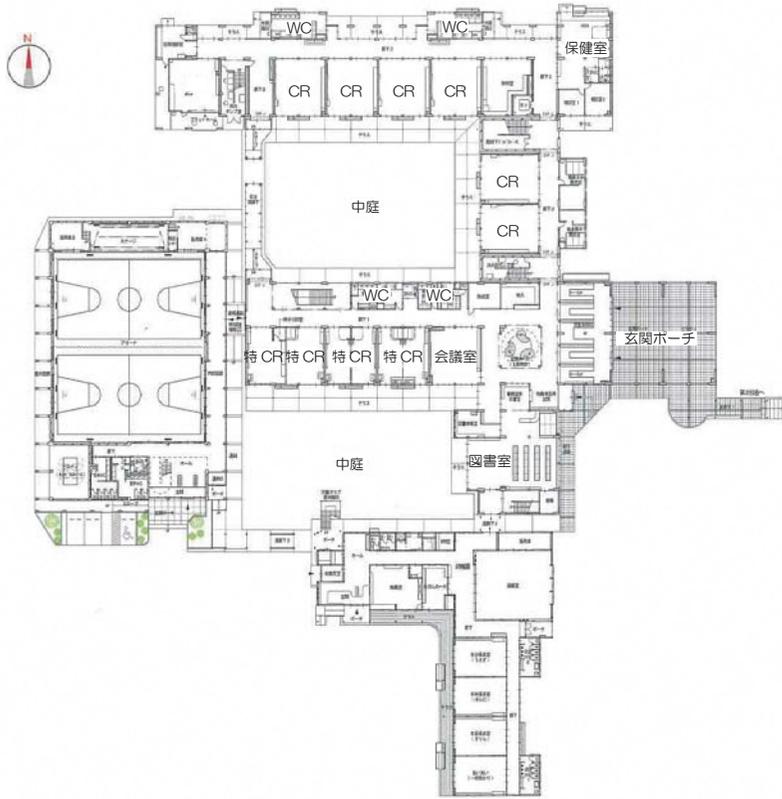
- 学校用地境界線
- 児童動線
- 園児動線
- 職員・来客動線
- 自動車動線



1階ホール

配置図

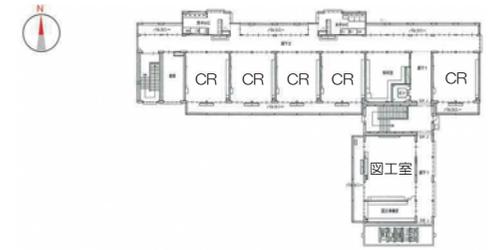
■各階平面図



1 階平面図



2 階平面図



3 階平面図



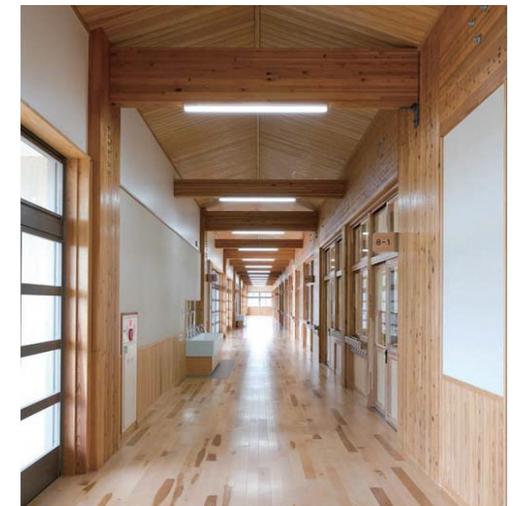
理科室



ピロティ



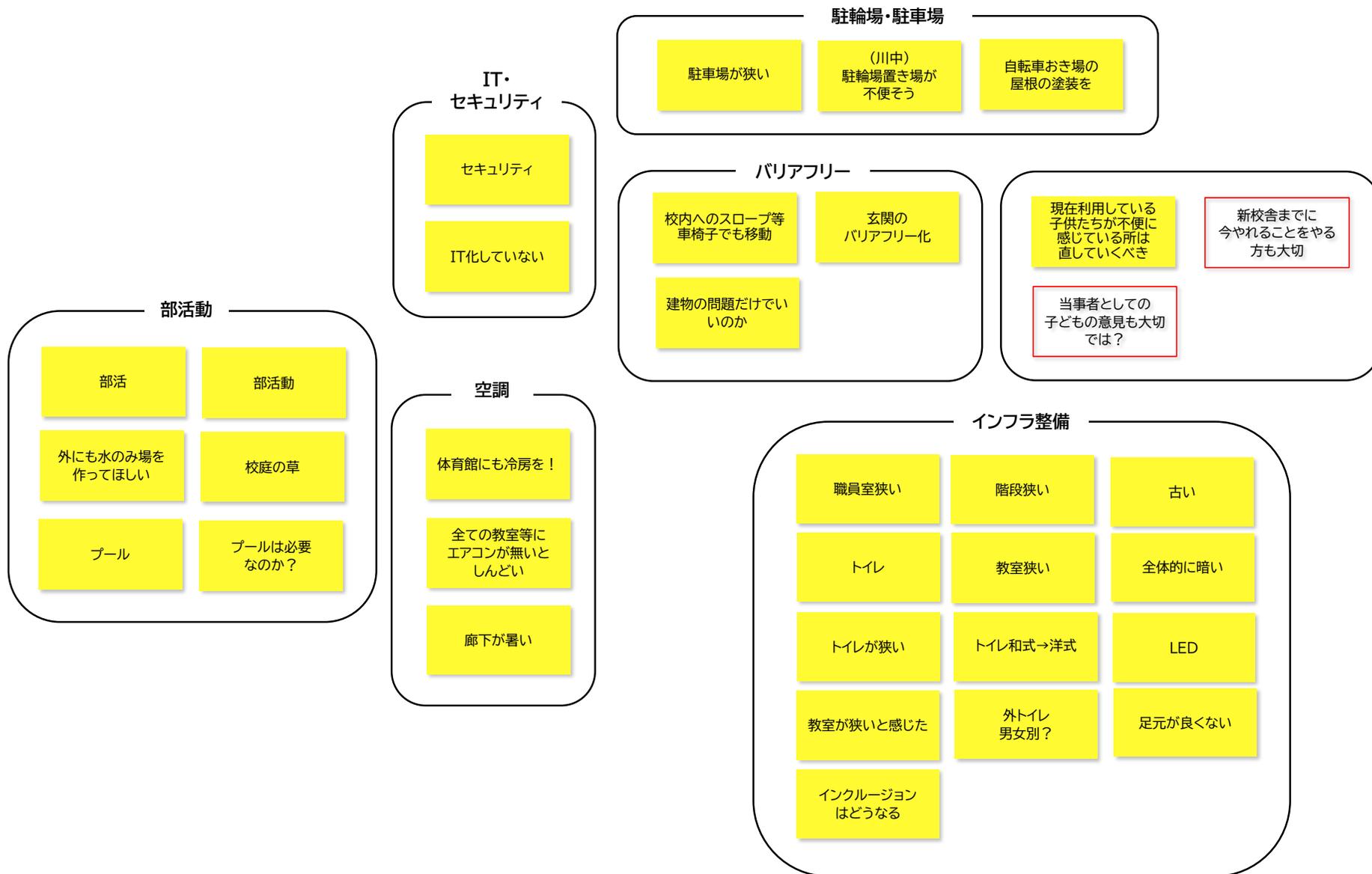
ホール



廊下

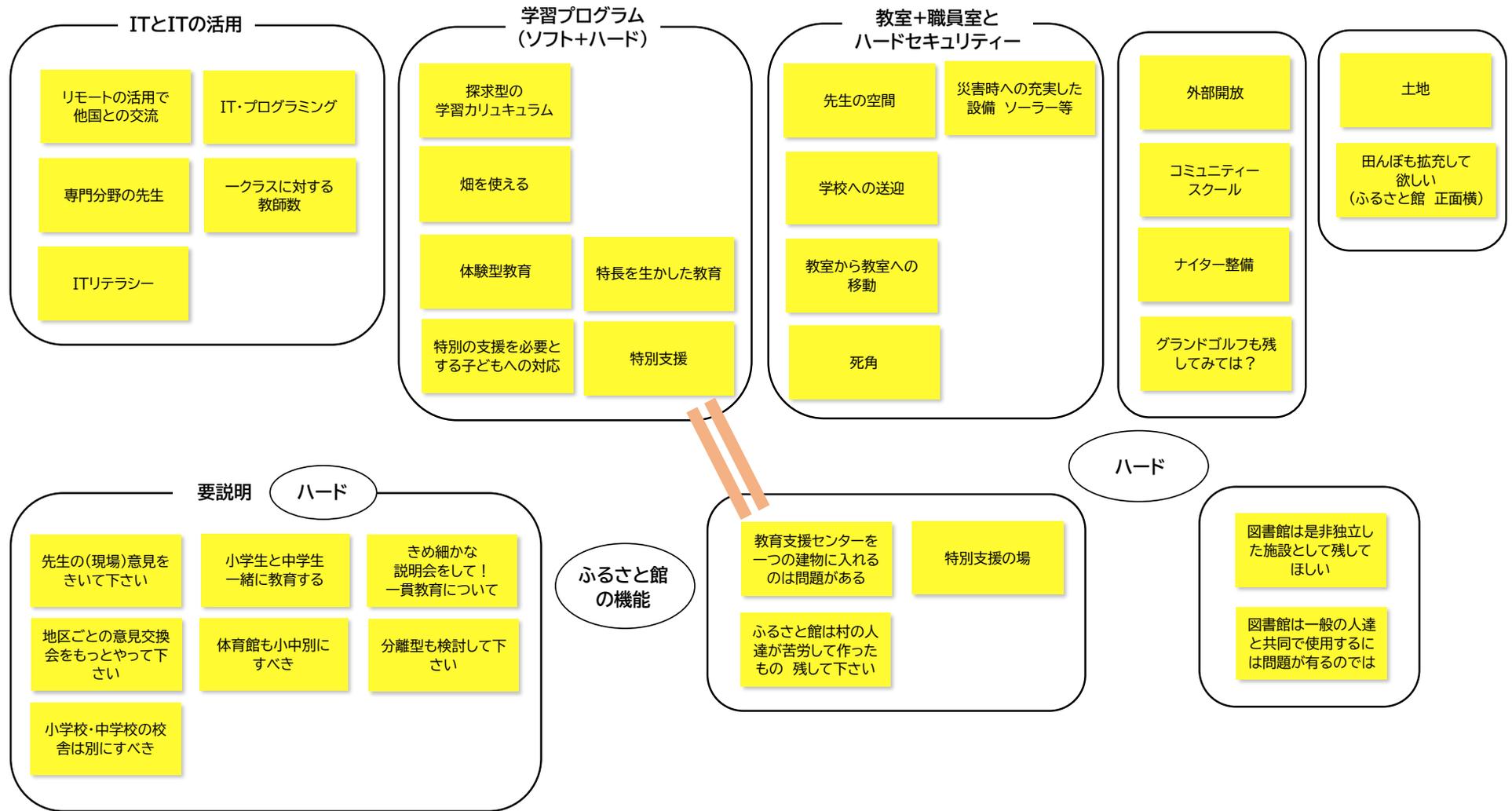
③結果

『テーマ1:既存校舎の課題』

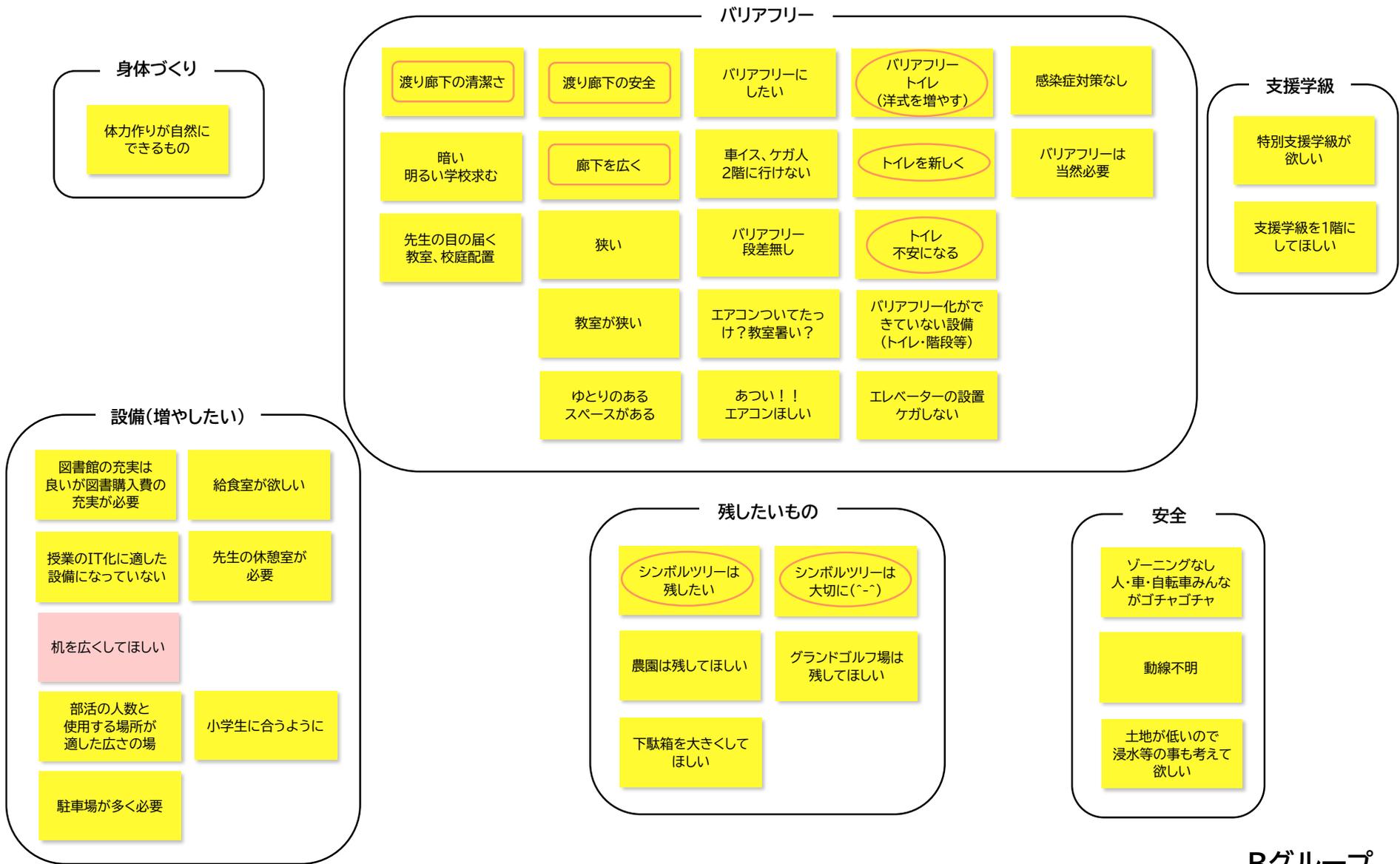


Aグループ

『テーマ2:小中一貫校に期待すること』

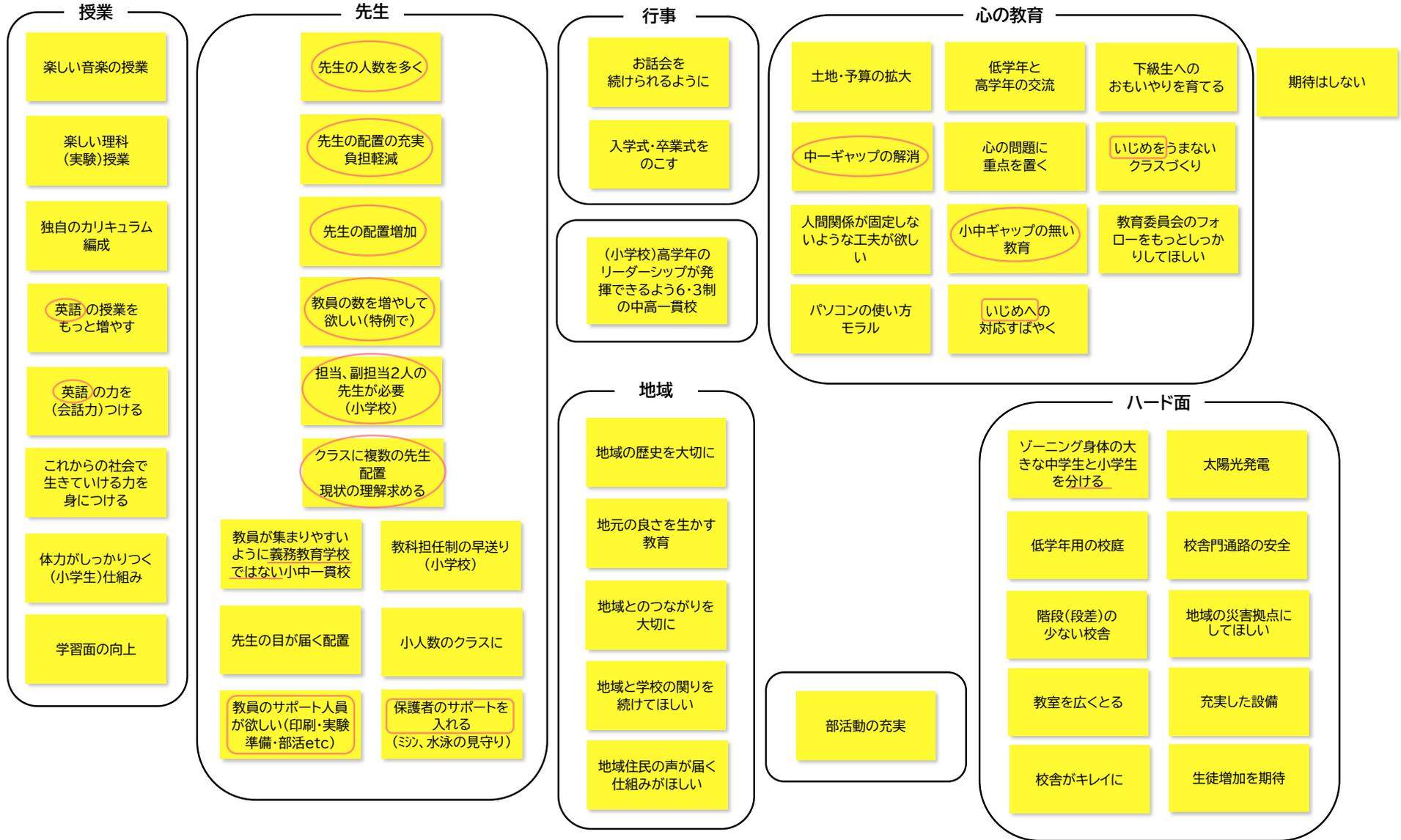


『テーマ1:既存校舎の課題』



Bグループ

『テーマ2:小中一貫校に期待すること』



Bグループ

『テーマ1:既存校舎の課題』

ICT:GIGAスクール

- ITインフラ
Wi-Fi電源

- 子どもの様子
先生たちの様子
見たかった
- 国際化
(多文化共生)
- 教員数と業務の
バランス

小中

- 教員の出前授業
- 小中生との交流

地域

- 学童保育
- 応接室
地域交流
- 更衣室
男女
- 保護者と先生と話せる
様な部屋(気軽に)

生物

- 野菜作り
- 生物多様性
- ウサギ
- シンボルツリー
- 小動物の飼育
- 共和小のホタル

- 給食
子ども食堂

校庭

- グラウンド緑化
- 校庭のメンテナンス
(雑草など)
- 芝生希望
(グラウンド)
- グラウンド緑化するなら
野球場(第2グラウンド)
が必要になる

**安全
自転車**

- 自転車
・安全・アシスト
- 安全性
(防犯対策)

プール

- プール
年齢幅広いので
- プール
ある?ない?

教室

- 教室
風通しの良い環境
- 昇降口の段差
- 教室が圧迫感がある
- 渡り廊下の段差
- 教室が狭い
- 教室内の個人のロッカー
(金庫が欲しい)
- 廊下が狭い
- 階段の段差
- 学級数が減少

トイレ

- トイレの改善
洋式・広さ
- 築35年の割りに
古い
- トイレ・汚い
・和式が多い
・狭い

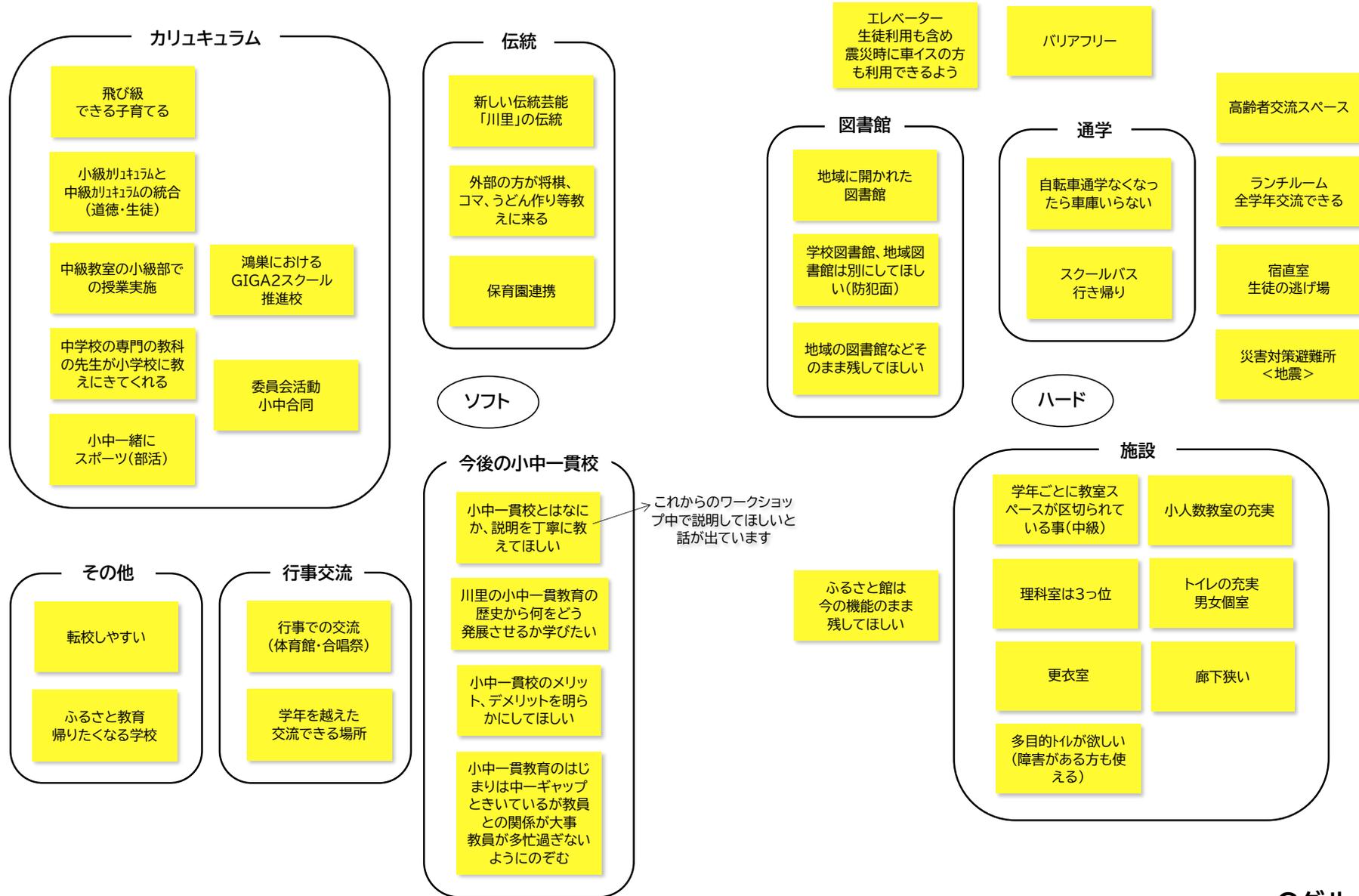
バリアフリー

- バリアフリー
- 逃げ場所
- インクルーシブ
(J.F.)
- ・障害
・男女
・外国

空調

- ZEB化(省エネ)
推進
- 空調が特別教室
にあるか

『テーマ2:小中一貫校に期待すること』



④議事録

第1回川里地域小中一貫教育校新設に係る ワークショップ結果

開催日時	令和5年 6月 25日(日) 9:00~12:00	
会場	ふるさと館 1階会議室	
出席者	ワークショップ参加者	21名(参加者18名+付添いの子ども3名)
	市職員	鴻巣市教育委員会 教育総務課 ■松本課長 ■飯島主幹 ■新井主査 ■堀主任
	設計事務所	株式会社 桂設計 ■岡崎、■中山、■鎌形、■田名部、■一木

1. 開会

総合ファシリテーター：岡崎

開催時間：3時間

配布資料：「川里地域小中一貫教育校新設に係るワークショップ資料」

2. 挨拶

松本課長より開催の挨拶

3. 担当者紹介

市職員紹介／桂設計紹介

4. 事業スケジュール

開校までの事業予定の説明

現時点では令和10年度の開校を目指しているが、今年度の基本設計・基本構想の中でスケジュールを決めていきたいと考えている。(教育総務課)

5. 候補地説明

既存中学校敷地及び周辺施設・周辺環境の状況説明(桂設計)

6. プロポーザル案紹介/事例紹介

i) プロポーザル案紹介

ii) 小中一貫校の事例の紹介

[参考事例] ①瀬戸市立にじの丘学園

②岩国市立東小学校・東中学校

③松江市立義務教育学校玉湯学園

[桂設計物件] 浦安市日の出南小学校

7. 川里中学校の現状/校舎見学

A～C グループに分かれて既存川里中学校の現地見学（40分程度）

既存校舎面積：約 4400 m²（S61 年建設）、体育館：約 1500 m²（S63 年建設）

敷地面積：約 34000 m²

8. グループワーク

i) 6人×3グループに分かれて意見交換

ii) テーマ1「既存校舎の課題」

テーマ2「小中一貫教育に期待すること」

9. 発表

Aグループ（※発表シートに関しては別添参照）

①テーマ1「既存校舎の課題」

○駐輪場・駐車場

- ・ 駐車場は狭くて区分けされておらず、置ける台数が少ない。
- ・ 自転車置き場は老朽化しており、玄関への動線が不便と感じる。

○バリアフリー

- ・ 校内の出入り口がバリアフリー化されていない。
- ・ 玄関にスロープはあるが、車椅子で各教室には行けない
- ・ エレベーターがない。

○インフラ整備

- ・ 古い、トイレが狭い、全体的に暗い、LED化されていない、足元に小さい段差があって転びやすい。
- ・ 外トイレが充実していないので、校庭を使用する際は不便。

○空調設備

- ・ 体育館が暑くなるので空調を設置してほしい。
- ・ 自分たちが子どもだった頃より気温が2度、3度上がっているので、子どもたちのことを考えると全ての教室にエアコンを設置した方が良いのではないか。

○セキュリティ・IT

- ・各教室にタブレット用の大きな充電器があり、狭い教室をさらに狭くしているように感じた。教室の見た目の印象も良くない。
- ・学校関係者でない者が学校に出入りするのに、教育委員会がいるとはいえ、学校の責任者が不在なのは問題ではないか。

○部活動

- ・児童数の減少により、部活動も少なくなっている。
- ・プール老朽化や授業日数を考えるとプール施設の必要性については、検討が必要ではないか。
- ・昔はサッカー部、野球部、テニス部、バスケ部、バレー部があり外で活動していたので、校庭に雑草がなかったが、今は外の部活が少ないので雑草がかなり生えていて景観が良くない。

②テーマ2「小中一貫教育に期待すること」

○概要説明

- ・事前の情報が少なく、議論を交わすにも発言しづらい。小中一貫教育校について、丁寧に説明してもらいたい。

○ITの活用（ソフト）

- ・鴻巣市では一人一台端末を取り入れ、ICT教育についても力を入れていると聞いているので、プログラミング教育等についても期待している。
- ・リモート環境を整えて、国際交流等ができるのであれば、子どもたちの幅が広がるのではないか。
- ・専門の教員を配置して、教育を進めてほしい。
- ・教育内容の充実ということで1クラスに対する教員の数を充実させてほしい。

○教室と職員室（ハード）

- ・小中学校が一緒にあると、死角が増えるのではないか。
- ・災害時の充実した設備について、ソーラー発電などを取り入れて欲しい。鴻巣女子高校にはソーラー発電から引ける電源があり、災害時にはソーラー発電からの災害用の電源が取れる。同じように電源が取れるのは安心だと思うので、ソーラー発電を付けてもらいたい。

○その他（ソフト）

- ・小中一貫教育校ということで、中学生と小学生と一緒に活動できる授業等を取り入れれば、お互いに対しての、「面倒見てもらった、見てあげた」といった関係ができ、様々な感情が芽生えていくのではないか。

- ・スクールバスを使用するという事なので、スクールバスについての教育や、乗り降りに関しての説明などを子どもたちにしてほしい。徹底して教育をしていかないと事故が必ずつながる。

○その他（ハード）

- ・コミュニティースクールになることを想定するのであれば、施設の外部開放を充実してほしい。
- ・ナイトー設備を設置してほしい。広田小学校にはナイトーがあつて夜間の活動が可能となっている。
- ・グラウンドゴルフ場も教育内容として有効活用できるのではないか。
- ・図書館については、複合化するのではなく、独立して残してほしいという意見が多数ではないか。
- ・教育支援センターを残してほしい。
- ・特別支援教育はどうなるのか。

○教育委員会への要望

- ・暗いとか、危険があるという現状の課題に対しては、5年後まで先延ばしにできないので、今いる生徒の安全安心を考えて今から対応して欲しい。
- ・プールや体育館は、専門的な施設と、低学年用の2施設あったほうが良い。そうすれば学区外からも、施設利用を目的としてこの学校に行きたいという児童生徒が増えると思う。
- ・最終的には既存小学校が3校残る。災害対策など、何らかの形で校舎は残るのかもしれないが、跡地活用についても並行して検討してもらいたい。新設校ばかりに手を掛けていて、跡地利用の計画ができなかったという事では困る。

Bグループ（※発表シートに関しては別添参照）

①テーマ1「既存校舎の課題」

○バリアフリー

- ・廊下関係の意見として、渡り廊下がとにかく危険、スロープになっているがかなり勾配がきつい、廊下が狭い、清潔感がない。
- ・トイレ関係の意見として、洋式を増やして欲しい、バリアフリー対応にしてほしい、トイレが暗くて不安になってしまう。

○設備（増やしたい）

- ・図書室を充実してほしい。
- ・IT化やICT教育に適した設備になってほしい。たとえば、既存の机は狭いので

- ・パソコン、教科書、ノートを置いたらいっぱいになってしまう。
- ・部活の人数と使用する場所について適した広さを確保してほしい。
- ・駐車場を確保してほしい。
- ・給食室を設置してもらいたい。
- ・教員の休憩室も必要ではないか。

○残したいもの

- ・シンボルツリー、農園、グランウドゴルフ場。
- ・下駄箱の大きさをもっと広くしてほしい。

○安全面

- ・いろんな場所が分かれていない。小中一貫になると、中学校3年生と小学校1年生が同じ場所で活動すること、児童生徒が自動車と同じ通学路を歩くというのは危険。
- ・土地が低いので、浸水等の危険、可能性がある。土地を高くしてほしい。

○支援学級

- ・特別支援学級を1階に設置してほしい。

②テーマ2「小中一貫教育に期待すること」

○授業（ソフト）

- ・理科の実験や音楽の授業等では、楽しい授業を行ってほしい。
- ・中学校には英語の教員もいるので、英語の授業を増やし、英語の会話力を身につけられる学校にしてほしい。
- ・歩かなくなっているので、体力がしっかりつくように考えてほしい。
- ・学習面での向上が期待できるのではないか。

○教員（ソフト）

- ・教員の人数を多くしてほしい。できるだけ教員の人数を増やし、教員の負担を減らす。教員の配置を増加してほしい。
- ・副担任制の導入。
- ・教員が集まりやすいような（教員がたくさん来てくれる）義務教育学校、小中一貫校にしてほしい。
- ・少人数のクラスになるようにしてほしい。
- ・教員免許はなくても、保護者がサポートできるような、体制も取り入れてほしい。

○行事（ソフト）

- ・各小学校で行われる行事は継続して実施したい。

- ・今行われている「お話し会」が続けられるようにしてほしい。
- ・義務教育学校にすることで小学校の入学式、中学校の卒業式がなくなってしまうかもしれない。そのような節目の行事は残してほしい。

○その他（ソフト）

- ・上級生がいても、高学年はリーダーシップが取れるような小中一貫教育校にしてもらいたい。
- ・小中一貫教育校にすることで、中学生だけでなく、小学生も部活動に参加できるケースもある。そのような形で部活動を充実させてほしい。
- ・小中一貫教育校に対して期待はない。

○地域（ソフト）

- ・広田、屈巢、共和地区があり、それぞれの地域に特性がある。その特性を生かし、今までの歴史が続けられるような教育をしてほしい。地域のつながりも今までどおり残り、地元とつながりを活かした学校にしてほしい。
- ・住民の声が届く仕組みを大事にしてほしい。

○心の教育（ソフト）

- ・心の問題がすごくあるので、低高学年の交流が上手くできるようにしてほしい。心の問題に重点を置いてほしい。
- ・中一ギャップがなくなるといわれているので期待している。
- ・人間関係が固定しないような工夫をしてほしい。
- ・いじめの対応を素早くしてほしい。
- ・教育委員会がしっかりフォローをしてほしい。
- ・パソコンなどの使い方のモラル、いじめのないクラス、下級生への思いやりのあるようなクラスにしてほしい。

○ハード面

- ・太陽光発電を取り入れる、階段の段差、段差を減らす、教室を広くするなどの期待をしている。
- ・地域の災害拠点として、考えてもらいたい。
- ・小中一貫教育校になったことで児童生徒が集まるのではないかと、住民が増えるのではないかと、そういうことを期待している。

Cグループ（※発表シートに関しては別紙参照）

①テーマ1「既存校舎の課題」

○校庭

- ・グラウンドの緑化や、雑草のメンテナンスなどが必要。芝生化を希望する意見もあり、その場合、野球場や第2グラウンドも必要になるのではないかと。

○空調

- ・ZEB化、省エネの推進、空調が特別教室にあるのか。

○生物

- ・野菜作り、シンボルツリーは今後も必要である。
- ・共和小学校ではホタルの飼育をしているので、それは今後も残した方がよい。
- ・小動物の飼育もあった方がよい。

○プール

- ・現状はプール施設があるが、小中一貫教育校になるにあたり年齢幅が広がるので、どのような形にしていくのか。

○教室

- ・圧迫感がある、狭い。

○トイレ

- ・築35年のわりに古い、和式が多い。

○地域

- ・更衣室が男女別、応接室、地域交流、保護者の教員と話せるような部屋がほしい。

②テーマ2「小中一貫教育に期待すること」

○カリキュラム面（ソフト）

- ・飛び級、小学校カリキュラムと中学校カリキュラムの統合、小中合同での授業、小学校での教科担任制、小中一緒にスポーツ等の部活動ができる。

○伝統（ソフト）

- ・ささらや鼓笛等の伝統を残してほしい。
- ・外部の方が将棋、コマ、うどん作りなどを教えに来る機会を設けてほしい。

○今後の小中一貫（ソフト）

- ・小中一貫教育とは何か、説明を丁寧に教えてほしい。これからのワークショップの中で説明をしてほしい。

○図書館（ハード）

- ・「地域に開かれた学校と複合化された図書館」「学校図書室と地域の図書館は別にしてほしい」それぞれの意見がある。

○通学面（ハード）

- ・スクールバスの送迎について。

○施設（ハード）

- ・学年ごとにスペースを区切ってほしい、理科室が3つ欲しい、更衣室の充実、多目的トイレが欲しい、災害時に障害のある方も施設を使えるようにしてほしい、少人数の教室の充実、男女のトイレ個室化。

○その他（ハード）

- ・高齢者交流スペース、ランチルーム、異学年交流スペース、宿直室、生徒の逃げ場所の設置。
- ・災害対策、避難所としての機能。

○その他（ソフト）

- ・転校しやすいようにしてほしい、ふるさと教育、帰りたくなるような学校づくり。